

目次

1. なぜ、生活を重視するのか

- 1) なぜ、在宅看護論を学ぶのか
 - ・病院看護師が行う継続看護
 - ・訪問看護師が行う訪問看護
 - ・地域で療養する人々や家族を支える在宅看護
- 2) 在宅看護論は他の看護学領域とどこが異なるのか
- 3) 在宅看護の特性
 - ・「生活をする」とは何か
 - ・在宅看護でなければ学べないこと
 - ・在宅看護論における自己の課題

2. なぜ、対象者の意思を尊重するのか

- 1) 対象者
 - ・健康レベル
 - ・年齢・役割・家族のライフサイクル
 - ・地域・環境
- 2) 在宅療養者の権利
 - ・自己決定への支援
 - ・在宅ケアでの意思決定に関する倫理的諸問題
- 3) 家族
 - ・介護家族の状況
 - ・家族に関する理論
 - ・家族アセスメント

3. コミュニケーションは

臨床看護とどこが変わるのか

- 1) 家庭訪問の意義と訪問時のマナー
 - ・対象者の生活の場を訪問することの意義
 - ・訪問前の準備と訪問時のマナー
 - ・面接の方法・技術
- 2) 信頼関係の形成
 - ・信頼関係は、なぜ必要か
 - ・信頼関係を形成するために看護職に必要な資質・能力
 - ・信頼関係はどのように形成されるのか

4. 看護アセスメントは

臨床看護とどこが変わるのか

- 1) 在宅看護過程
 - ・在宅看護過程の構成要素
 - ・情報収集・アセスメント
- 2) 看護計画立案
 - ・在宅療養を継続できる計画
 - ・看護目標とそれに沿ったアウトカム、評価日の設定
 - ・リアセスメントと計画の修正
- 3) 看護記録と評価
 - ・看護記録の内容
 - ・評価
 - ・看護過程の進化

5. 療養者と家族で療養生活を送るために 支援・教育することは何か

- 1) 看護実践への理論の応用
 - ・療養者と家族の支援や教育をするためには
 - ・療養者・家族への支援・教育

2) 在宅における日常生活援助の考え方

- ・基本的な生活援助とは
 - A 環境調整
 - B 食事
 - C 排泄
 - D 清潔・皮膚のケア
 - E 移動
 - ・医療処置管理の支援・看護
- 3) 医療処置管理の支援・看護
 - A 服薬支援
 - B 在宅持続皮下注入法
 - C 在宅酸素療法
 - D 人工呼吸器
 - E 吸引
 - F 膀胱留置カテーテル
 - G 経管栄養法
 - H 在宅中心静脈栄養法
 - I 褥瘡ケア
 - J 連続携帯行式腹膜灌流
 - K 人工肛門・人工膀胱

4) 緊急時の対応

5) 対象別看護

- ・在宅における認知症の療養者の看護
- ・在宅における小児の支援
- ・在宅における精神疾患の療養者の看護
- ・在宅における終末期療養者の看護

6) リスクマネジメント

- ・感染の予防とその対応
- ・リスクマネジメント

6. なぜ社会資源を活用するのか

- 1) 社会資源とは何か
 - ・社会資源とは
- 2) 社会資源を活用するために
- 3) 社会資源活用プロセス
 - ・社会資源の活用と法的制度との関係
 - ・社会資源の種類
 - ・主要な社会資源
 - ・高齢者・障害者の生活の場
 - ・居住環境を整えるための住宅改修
 - ・福祉用具の種類

7. 看護職と連携・協働することは何か

- 1) 退院計画と退院支援（調整）
 - ・早期退院の進捗と看護職の連携・協働の意義
 - ・退院計画とは
- 2) 継続看護のいろいろ
 - ・継続看護とは
 - ・病院と在宅との継続看護
 - ・情報共有
 - ・福祉施設の看護と訪問看護
 - ・保健所・市町村と訪問看護

8. 多職種と連携・協働することは何か

- 1) 在宅ケアにおける多職種の連携・協働
 - ・多職種との連携・協働体制の必要性
 - ・多職種連携で訪問看護ができること

- ・連携・協働におけるケアマネジャーの役割
- ・パートナーシップとコミュニケーション

2) 在宅ケアにおける保健医療福祉チーム

- ・多職種の連携・協働のポイント

9. 訪問看護はどのように作られたか

- 1) 社会の状況、法律・制度、在宅看護の変遷
- 2) 訪問看護ステーションの成り立ち
- 3) 介護保険制度・医療保険制度
 - ・社会保険方式
 - ・医療保険制度
 - ・介護保険制度
 - ・医療保険と訪問看護
- 4) ケアマネジメント
 - ・ケアマネジメントの定義
 - ・ケアマネジメントの必要性
 - ・ケアマネジメントの構成
 - ・ケアマネジメントと介護保険制度
- 5) 諸外国の訪問看護
 - ・保健医療制度の特徴と訪問看護
 - ・訪問看護実践の特徴とその専門性の比較

10. 在宅看護管理とは何か、 なぜ必要なのか

- 1) 訪問看護ステーションの事業運営
 - ・介護報酬・診療報酬
 - ・訪問看護ステーションの運営
 - ・事業計画と訪問看護実績管理
 - ・実績管理が経営とスタッフ教育に結びつく
- 2) セーフティマネジメント（安全管理）
 - ・医療・ケア事故、感染事故等
 - ・情報管理
 - ・医療廃棄物
 - ・自然災害
 - ・セーフティマネジメントにおける管理者の役割
- 3) 看護の質の管理
 - ・訪問看護の質の評価
 - ・看護の質を評価する指標
 - ・苦情相談とその分析
- 4) 訪問看護師の育成

11. 訪問看護師の看護の満足感は何か

- 1) 訪問看護の特性からみた看護師の満足感
- 2) 訪問看護師をめざす人たちへ

12. 在宅看護論の教育は どのように変化したか

- 1) 在宅看護論の誕生
 - ・背景
 - ・改正内容
- 2) 「統合分野」に位置づけられた「在宅看護論」
 - ・背景
 - ・新カリキュラムにおける統合分野の意味と専門科目から統合分野におかれた在宅看護論

看護教員の声で生まれ変わった 最新テキスト

新版 在宅看護論

木下 由美子 編著

ご協力ありがとうございました
全国の看護学校の先生方へ

アンケートを実施させて頂きました。

お寄せ頂いたご意見・ご指摘から

『在宅看護論 第5版』は『新版 在宅看護論』へ

生まれ変わりました。



新カリキュラム対応

定価 2,520円（本体2,400円 税5%）

B5判 296頁

ISBN978-4-263-23532-4



医歯薬出版株式会社



エッセンシャル 在宅看護学 事例集付

木下 由美子 編

定価 2,730円（本体 2,600円＋税5%）

B5判 332頁 ISBN978-4-263-23490-7



在宅看護 体験学習ノート

篠原 千里・今井 範子・青木 由利江 ほか著

定価 2,100円（本体 2,000円＋税5%）

B5判 112頁 ISBN978-4-263-23505-8

● 弊社の全出版物の情報は
ホームページでご覧いただけます。
<http://www.ishiyaku.co.jp/>



医歯薬出版株式会社

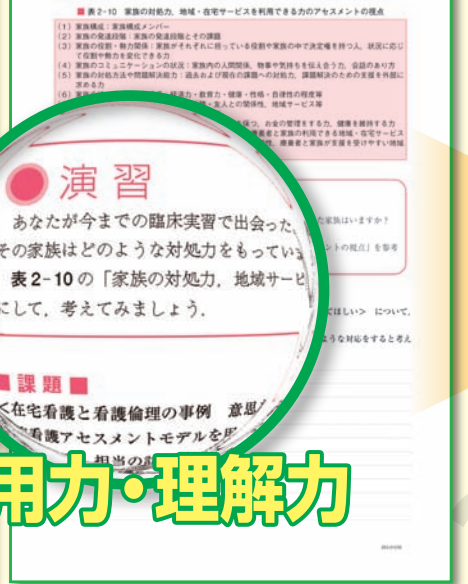
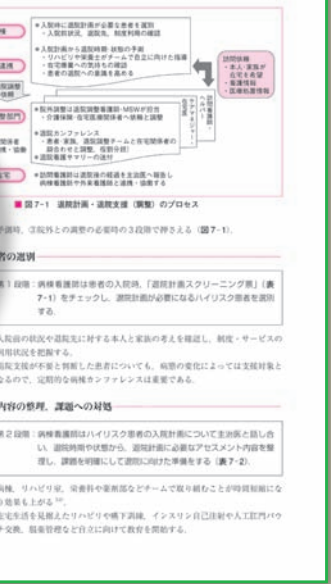
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

電話 03-5395-7610 FAX 03-5395-7611

● ご用命はぜひ当店へ

医歯薬出版図書 ◎取扱店

心が動く！「問いかけ」からはじまる 活きた講義



実践力

「参加型」が変えた！
まったく新しいテキスト。

新版 在宅看護論

序文 より抜粋

今回の「新版 在宅看護論」は、テキストをもとに授業をされる教員の方々のご意見を伺い、学生の教育導入時の理解の仕方、思考のプロセス、反応等を考慮して作成いたしました。本書を手にとられてマンガが出てくると、これはテキストかと驚かれる方もあるかと思いますが、人生経験の浅い学生さんが、療養者や家族の多様な考え方や、いろいろな環境の中での生活を理解しやすいように、在宅における諸状況がわかりやすいように、作成した結果です。難しくはありませんが、在宅看護の真髄が網羅されているテキストといえるでしょう。（中略）

マンガから考える→なぜだろう?→実態を知る→その結果、病院看護師や訪問看護師として、あるいは各種施設の看護師として看護職は何を行うのか→在宅ケアチームの役割や在宅ケアシステムを知り、さらに看護の役割を深める→そのために学習することは何か。このようなプロセスで学習されることを期待しております。テキストをいかに活用するか、教育機関の特性に合わせてご利用ください。（中略）

本書をご利用された結果は、出版社にご連絡いただけますと、次の改訂時にいかすことができます。テキストは利用される教員の方と学生さんの意見が大切ですので、授業と同様に参加型で、是非ご意見を聞かせていただきたいと存じます。

木下 由美子

Before
『在宅看護論 第5版』

- 1章 1-2,3 地域看護と在宅看護, 在宅看護の目的と特性, そして学び(p.5~9)
- 1章 2-1 地域で生活する人・療養する人(p.10~11)
- 5章 1-2 在宅療養者の権利(p.252~256)
- 1章 4 在宅ケアと現代家族(p.47~64)
- ワンポイント「在宅でのマナー」(随所に掲載)
- 3章 2 在宅看護・訪問時の面接技術(p.130~134)
- 3章 1 在宅看護での看護過程の特徴(p.113~129)
- 3章 3 基本的生活行動と訪問看護とのかかわり(p.137~166)
- 3章 4-1,2 在宅医療処置のある患者の継続看護, 医療処置の実際(p.167~203)
- 2章 地域で療養する人にみられるおもな疾患・症状の特徴と在宅ケア(p.65~112)
- 1章 2-2 地域で療養する人を支える保健・医療・福祉(p.12~26)
- 1章 2-4 地域で療養する人を支える居住環境・日常生活用具(p.10~11)
- 1章 3-3 継続看護(p.43~46)
- 1章 2-3 地域で療養する人を支える専門職と連携(p.23~27)
- 1章 1-1 在宅ケアを取り巻く最近の変化(p.1~4)
- 5章 1-1 訪問看護の制度的成り立ち(p.241~246)
- 1章 3-2 訪問看護ステーション(p.35~40)
- 4章 4 公的介護保険(p.222~240)
- 4章 1,2,3 ケアマネジメントの理解, ケアマネジメントのプロセス(p.211~220)
- 5章 2 諸外国における在宅看護(p.257~262)
- 1章 3-2 訪問看護ステーション(p.40~43)

After
『新版 在宅看護論』

- 1章 なぜ,生活を重視するのか
- 2章 なぜ,対象者の意思を尊重するのか
- 3章 コミュニケーションは臨床看護とどこが変わるのか
- 4章 看護アセスメントは臨床看護とどこが変わるのか
- 5章 療養者と家族で療養生活を送るために支援・教育することは何か
- 6章 なぜ社会資源を活用するのか
- 7章 看護職と連携・協働することは何か
- 8章 多職種と連携・協働することは何か
- 9章 訪問看護はどのように作られたか
- 10章 在宅看護管理とは何か,なぜ必要なのか
- 11章 訪問看護師の看護の満足感は何か
- 12章 在宅看護論の教育はどのように変化したか

新版では・・・

「こんなことを学びます」

- 在宅看護の目的と特性
- 対象者・家族の倫理,権利擁護,意思の尊重
- 療養者と家族に対するコミュニケーション・カウンセリング
- 在宅看護ならではのアセスメント
- 在宅の特徴をふまえて,療養者・家族へのセルフケア支援を中心にポイントをしばって明示.
- 継続看護実現のために,社会資源の活用について
- 在宅看護の特徴でもある,地域・他職種との連携を解説
- 他職種の役割,他職種に対するコミュニケーション,他職種との連携/調整/協働
- 法と制度・訪問看護ステーションの成り立ち・介護保険・ケアマネジメント・医療保険・在宅看護の変遷・諸外国の訪問看護
- 在宅看護管理(経営の実際,リスクマネジメント,クオリティー)
- 訪問看護に求められていること
- 在宅看護の学び,目的・新カリキュラムの意義